

令和元年度 加古川南高校 インスパイアハイスクール事業

活動報告

事業 : 「災害・防災」共同研究 第2回
テーマ : 避難行動を考える ～平成30年度災害から何を学ぶか～
講師 : 兵庫県立大学環境人間学部 木村 玲欧 教授
実施日 : 令和元年6月30日(日)
場所 : 神戸市防災コミュニティセンター
参加者 : 7名(3年:男2名、女1名 2年:男2名、女1名 1年:女1名)

この日、神戸市消防局が主催する防災マネジメント研修に参加しました。まずは木村玲欧先生から上記のテーマで講演をしていただき、昨年起きた災害における反省点、及び今後の生活において気をつけるべき点を教わりました。危機管理の基本は「わがこと意識」による自助であり、防災に関して何も知らない・対策をしていないことが災害時での「無力」につながるということも再確認した上で、減災のためにも日ごろから身の回りの状況を確認する「災害診断」をすることの必要性を強く感じました。

その後、今後起こりうる南海トラフ地震の概要や災害時の避難方法に関する基本的な知識についても情報を提供していただきました。特に、「警報」という言葉の解釈について注意をされた時には、テレビやラジオなどから与えられた情報を正しく読み解く力を養うことの大切さを学びました。

後半には地域の方々とグループを作り、「災害に対して、自分・周囲・地域が避難行動をとる際にどのような問題・課題があるか」というテーマで話し合いをしました。それぞれが問題点を付せん書き出し、カテゴリー分けをしたものを模造紙にまとめていきました。昨年同様、「高齢者の避難方法」「避難時における情報共有の仕方」について不安を感じる参加者が多く、これを解決するためにも「コミュニケーション」や「役割分担」を大事に考えないといけないのだろうと強く感じました。

最後に、それぞれのグループが発表をし、考えられる問題点や解決策を確認し合って研修を終えました。住んでいる地域や考え方の異なる人が集まって意見交換をすることは自分自身の考えを見つめなおす上で大きく役に立つと感じました。生徒たちにとっても、ここでの経験が今後の高校生活に活かすことを期待します。



